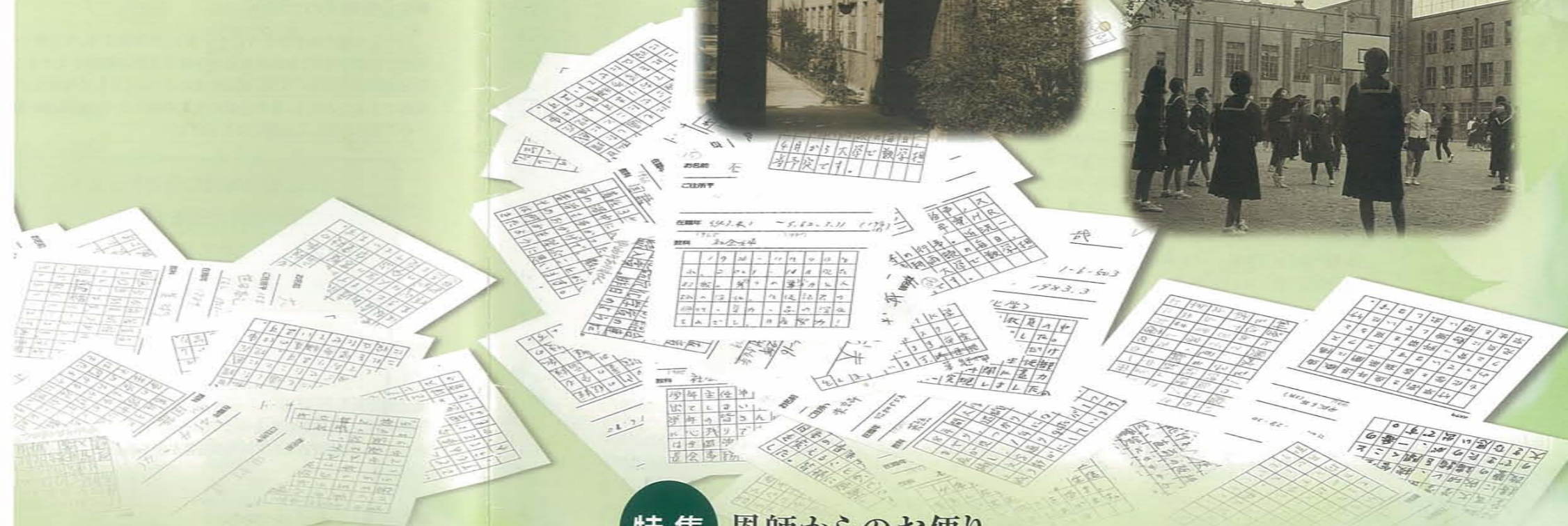


# TAKAMURA 簗



### 会報編集委員

- 委員長 木村 民子(19回生)
- 委員 佐藤 美紗子(16回生) 菅原 博子(19回生) 小出 あつ子(21回生)  
 原 嘉昭(17回生) 香川 洋子(20回生) 佐藤 一枝(21回生)  
 足立 裕宏(17回生) 池上 美知子(20回生) 小林 稔(23回生)  
 野川 淑子(18回生) 小田 みどり(20回生) 古関 恵一(29回生)  
 鈴木 輝夫(19回生) 岩瀬 正司(20回生)  
 伊藤 幸(19回生) 小池 恵美子(21回生)

### 簗会報

発行日 2010年4月22日  
 発行 簗会  
 〒112-0002  
 東京都文京区小石川4-2-1  
 東京都立竹早高等学校内  
 090-8853-1901  
<http://www.takamurakai.com>  
 編集 簗会 会報編集委員会  
 印刷 望月印刷株式会社  
 埼玉県さいたま市中央区円阿弥5-8-36

## 特集 恩師からのお便り

—時間を超えて届きました! 恩師のメッセージ満載 ..... 3~7

- 総会案内・トーク&トーク ..... 1・2
- 竹早エコー ..... 17~19
- 簗会会長・校長挨拶 ..... 8
- 関西・湘南簗会だより ..... 20
- 創立110周年記念事業 ..... 9・10
- 簗情報館 ..... 21・22
- なつかしの先生 ..... 11
- 簗回覧板 ..... 22
- 学校の活動報告 ..... 12
- 竹早山荘から・学年幹事連絡会報告 ..... 23
- 在校生の活躍紹介 ..... 13
- 平成21年度総会報告 ..... 24
- 第三回簗寿会開催 ..... 14
- 理事会報告 ..... 25
- 簗会特別セミナー ..... 15・16
- お知らせ・訃報・編集後記 ..... 26



同じ時代をともに生きた、かけがえのない絆。  
あの頃の笑顔に戻れる場所があります。

## 平成22年度 篁会総会のご案内

日時 2010年 6月20日 日

受付開始 10:30  
総会 11:00~11:30  
トーク&トーク 11:35~12:35  
懇親会 12:45~14:45

会場 東京プリンスホテル  
3階プロビデンスホール

東京都港区芝公園3-3-1  
TEL 03-3432-1111

会費 8,000円

(平成19年~21年卒は2,000円)  
(平成22年卒は無料)

●ご出席の方は、同封のハガキで5月28日(金)までにお申し込みください。  
●会費は、5月28日(金)までに同封の郵便局の払込取扱票でお振り込みください。

### 交通のご案内

- 都営地下鉄三田線 「御成門駅」(A1)から徒歩1分
- 都営浅草線・大江戸線「大門駅」(A6)から徒歩7分
- 都営大江戸線 「赤羽橋駅」から徒歩7分
- 地下鉄日比谷線 「神谷町駅」(3番)から徒歩10分
- JR線・東京モノレール 「浜松町駅」から徒歩10分
- 東京シティアターミナルからの乗り継ぎ  
半蔵門線「水天宮駅」→「大手町駅」で都営三田線に乗換  
→「御成門駅」(A1出口)から徒歩1分
- 羽田空港からの乗り継ぎ  
○「浜松町駅」まで 東京モノレールにて約16分~24分  
○「大門駅」まで 京急電鉄にて約30分



### ♪ 総会で 校歌を歌いましょう

今年は110周年ですので、皆様  
そろって総会で校歌を歌いま  
しょう。篁会のホームページに  
二つの校歌のメロディ・楽譜・  
歌詞が表示されています。ぜひ  
ご覧になってください。

篁会ホームページ  
<http://www.takamurakai.com>

### 今回幹事

高校20回生: 昭和43年卒  
高校31回生: 昭和54年卒  
高校41回生: 平成元年卒  
高校61回生: 平成21年卒

### 次回幹事

高校21回生: 昭和44年卒  
高校32回生: 昭和55年卒  
高校42回生: 平成2年卒  
高校62回生: 平成22年卒

### 総会・懇親会のお問い合わせ先

香川 洋子(20回生)  
TEL.090-3823-7112  
椎名 敏雄(20回生)  
TEL.090-6511-1956

## 総会・トーク&トーク パネリスト(20回生)紹介



龍島正雄氏

はいじま まさお

画家 現在パリ在住

### プロフィール Profile

東京に生まれる。1973年、東京創形美術学校造形科卒業、  
同年渡仏。翌年、パリ国立美術学校に入学し、ビエール・  
キャロン教授の教室にて級長をつとめ、1980年に卒業。  
1985~'90年、パリの技術芸術学校(Ecole Supérieure  
des Arts et Technique)にて、絵画技術教授。1985、87年、  
パリ国立美術学校、東京創形美術学校交流展の企画に参  
加。1996年、同氏についてのルポルタージュがNHKから  
放映される。又、2002年、SeNAT(フランス上院)主催の  
クロック[亡命]に参加。作品の発表活動は美術学校在学  
中、1976年ポントワーズ市主催、同市文化館においての  
個展以来多数。主な展覧会にクロード・ベルナル画廊  
(1982)、ためなが画廊(1988~03)、パリ装飾美術館  
(1984)、サンモール市立美術館(2002)等。最近では、ダ  
ラス(2004)、パリ(2006)、ボン=レヴェク(2008)で個展。  
又、2006年以来、パリのグラン=パレで行われるサロン=  
コンパレゾン展に大作を毎年招待出品。



伊藤麻沙人氏

いとう まさと

陶芸家 神奈川県在住

東京に生まれる。1975年、東京芸術大学大学院 陶芸専攻修  
了。藤本能道氏、田村耕一氏、浅野陽氏に師事。鎌倉の「榎  
亭」に入社し、器を制作。1980年に日本工芸会正会員となり、  
東京池袋東武百貨店にて初個展を開く。1987年に神奈川県  
秦野市に窯を築く。翌年1988年に東京日本橋三越にて個展  
を開く(以後'91'93'95'98'01'03'05'07'09'08には器  
特集展を開催)。石黒宗彦「榎庵」にて清水卯一氏による鉄  
釉陶器研究会(榎印会)に参加。1996年、大阪うめだ阪急に  
て個展(以後'97'98'00'01'02'05)。2001年に東京都立竹早  
高校創立100周年記念のモニュメント「夢の風」を制作。  
2002年、東京青山「一客東京店」にて個展を開催(以後'04  
'05)。2006年に大阪「一客大阪店」にて個展を開催。東京国立  
博物館 応挙館にて茶道具展。2007年にはNHK「器夢工房」  
出演。新宿「玄海」、鎌倉「榎亭」、熱海「鶴吉」の器の監修・制  
作。著書としては、実業之日本社から『陶芸家』を著してい  
る。現在は日本工芸会正会員、巧匠会会員、群馬大学講師。

### ＜美術部の二人＞

その衝撃的なことの始まりは10数年前にさかのぼります。笠間市で陶芸活動をなさっていたご夫妻の「八十島窯」に私がお伺いした時のことです。

当時、女子美の高校2年生だった私の娘は、進路に迷ってさまざまな方にご意見を頂いておりました。竹早の新聞部の仲間でもあった伊藤麻沙人さんには、恐れ多くもデッサンのご指導を頂きました。さらに、ある画家の奥様から八十島八重子様をご紹介頂き、1週間ほど泊まりでのご指導頂きました。その後、私もお礼に伺いました。その時、龍島くん(失礼)の写真と対面したのです。驚きと懐かしさのあまり、お礼の言葉より先に「私、この人、知っているんですけど・・・」と言ってしまいました。情熱に満ちた、本当に人の心の奥底に届く、強いその眼差しは高校時代の美術部の龍島くんそのものでした。「あら、私の弟よ。パリの芸大で教授をしているの。」

帰宅途中、この感動的な出会いを、我々が誇る伊藤麻沙人さんに即座に連絡し、30年の時を経た青春との再会が始まらんことを予感しました。

私たちは知っていました。小野先生が大好きで、美の作家として生きて行こうとしている二人の魂が「竹早」の中で輝いていたことを。

卒業後、40年超の本日の同窓会総会で、東・西の作家としてそれぞれ第一人者となられたお二人の対談を、そのお二人が最も尊敬される小野先生は、空の上から、誰よりも祝福なさって下さることでしょう。

小野寺 典子(20回生)



# 恩師からのお便り

## 時間を超えて届きました！恩師のメッセージ満載

ふっと自分史を紐解く時、そういえば今、どうされているのだろうか？と浮かぶ恩師のお顔……。そこで、今回の特集は「恩師からのお便り」として、たぐり寄せた絆に光をあてました。

お便り依頼は昨年末、往復はがきで、ご住所のわかる各恩師宛に「当時の思い出や近況などの一言メッセージを頂きたい、教えを受けた生徒一人ひとりが、先生からのお言葉をお待ちしております」として送りました。

— 高校20回生 編集による —

お名前(敬称略) ①在職期間 ②教科 ③お便り



### 昭和20年代まで (~1954年)

#### 日下 榮

- ①1939~1942 ②国語
- ③胆のうと総胆管結石の手術をして入院中です。94歳になりました。ご盛会をお祈りします。私ももう少し頑張ります。(代筆)

#### 松崎 悦子

- ①1947~1956 ②家庭科
- ③母校の歴史を回顧して輝く伝統に感動、永遠に揺るぎない発展を祈る。同窓生も誇りを胸に次の頁を記すべく夢希望を掲げ前進しよう。

#### 織戸 さなへ

- ①1948~1971 ②数学
- ③初めて独自の校舎を得て、仮住居より帰った時、ヒマラヤ杉が、この一、二年間ともども悩みになやんだ教師、生徒を迎えてくれたこと。

#### 福井 園彦

- ①1945~1948 ②数学、物理
- ③戦後の2年間教壇に立ちました。死から解放されてリルケの世界に入ったことが人気の一つだったのでしょうか？

#### 桑原 啓善

- ①1948~1981 ②社会(世界史)
- ③校地校舎をもがれた名門竹早の戦後の苦悩の真相を知る一人。この屈辱が私の第二の人生を作る「世界恒久平和の実現活動」。元気。

#### 横山(斉藤) 絢子

- ①1952~1956 ②保健体育
- ③新卒で竹早に赴任。狭い運動場を二校で使うのに驚き、でも皆大変よく練習し、土日は殆ど何かの試合で一喜一憂したのも懐かしい思い出です。

#### 深山 昌

- ①1947~1948 ②美術
- ③60年前のことになります。若年でしたが全力投球した思いが残っています。今年86歳です。時々郊外にスケッチに行っています。

#### 和田 弘

- ①1948~1949 ②保健体育
- ③学校周辺は、バラック小屋が立ち並び、食糧難時代だったが、品位ある生徒達とバレーボールに汗したことは懐かしい思い出である。

#### 大西 千恵子

- ①1953~1970 ②保健体育
- ③今思えば至らぬ教師でしたが竹早の皆様で鍛え磨かれたお蔭で47年の教師生活を前向きな姿勢で終わる事が出来ました。感謝しています。

### 昭和30年代 (1955年~1964年)

#### 板垣 雄三

- ①1956~1959 ②世界史
- ③80歳目前ながら、内外飛び歩いて忙しくなるばかり。イスラム世界との対話が主テーマ。人生終えるまで新しい生き方探しでしょう。

#### 三上 浩

- ①1959~1971 ②生物
- ③遠路を13年間もの長い間通勤できたのは、やはり生徒さん達が優秀で教える事を実によく吸収してくれたからだと思います。

#### 本多 英男

- ①1956~1967 ②保健体育
- ③小石川サッカー場で全日本大学サッカー選手権大会の決勝のため観覧者が入っている眼前でサッカーの授業をして試合をやったこと。

#### 大久保 廣行

- ①1961~1966 ②国語
- ③最初の赴任校竹早の印象は鮮烈で、熱き初心は今も消えることがない。若さとひたむきさを共有した当時の諸君の幸を切に願っている。

#### 小林 新三

- ①1957~1969 ②社会
- ③悪条件の克服、勉強とクラブを両立させた竹早根性は私への教訓。少子・高齢と国際化の激動の中で、克己・閑々静思の昨今です。

### 昭和30年代 (1955年~1964年)

#### 山内 初江

- ①1962~1973 ②司書教諭
- ③ヒマラヤ杉を見つつ登校した頃が思い出されます。熱心な先生方、聡明な生徒との学習は大切でした。竹早高は私の心の中の宝物です。

#### 土屋 正孝

- ①1963~1973 ②社会(地理)
- ③激動の10年間、学校群制度・学校紛争前後で学校の雰囲気は変わった。質実剛健な生徒が多かった。私にとって思い出深い学校でした。

#### 棚橋 克弥

- ①1963~1965 ②英語
- ③卒業直後に勤めた竹早は異才揃いの教員、理解のすばやい生徒、まるで大学の延長のようで、屈託もなく過ごすことができました。

#### 平田 邦夫

- ①1963~1969 ②英語
- ③申し訳ありませんでした。新宿予備校、駒場東邦中高校、大東文化大学英米文学科非常勤を致しました。皆さまのご活躍をお祈りします。

#### 晴山 文男

- ①1964~1981 ②数学
- ③東京オリンピックの年に着任、十数年お世話になった。当時の竹早は勤勉で有能な多くの人材に恵まれ、思い出の多い学校でした。



### 昭和40年代 (1965年~1974年)

#### 小川 明

- ①1965~1967 ②英語
- ③大学を出て最初に勤めました。未熟さ、戸惑い、ヒマラヤ杉、天国。大学院に戻り、山口、名古屋そして東京に帰り、まだ教えています。

#### 榎本 富士夫

- ①1967~1972 ②英語
- ③S44、45年学園紛争一年半竹早高校の思い出は忘れられません。卒業生の幸せを祈っております。お陰様で健康に暮らしております。

#### 田口 政雄

- ①1968~1975 ②数学
- ③思い出一高校紛争、スキー教室、竹早寮HR合宿等の行事。近況一今は晴耕雨読の毎日、4月から大学で数学担当予定です。

#### 大森 義宏

- ①1969~1975 ②社会
- ③学園紛争の最中に赴任したので、余り楽しい思い出はない。しかし担任した生徒たちは皆良い人間で今でも暖かい交流が続いている。

#### 濱 和廣

- ①1971~1977、1987~1990 ②物理、校長
- ③「竹早」その名と共に卒業後も、こよなく母校を愛し誇りに思う心情を、教師又は校長という立場で共有できたよろこびは最高である。

#### 田村 達之

- ①1966~1971 ②国語
- ③着任3年目に高校紛争の渦中に巻き込まれ、苦勞も多かったですが、そのおかげで、教育とは何かを学ぶことが出来たように思います。

#### 山森 淑子

- ①1968~1972 ②英語
- ③学園紛争の真中で十分に授業が出来なかった事が悔やまれます。そんな中でも清里や天国での授業の事がなつかしく思い出されます。

#### 石原 智恵子

- ①1968~1971 ②養護
- ③冬の朝はバケツの石炭をストーブで燃やして始まる。廊下突き当たりの書庫だった小さな保健室。竹早中学に間借りしていた時代でした。

#### 深井 宏一

- ①1970~1971 ②英語
- ③竹早の教室に立つ私は、目に見えない糸を手にかけている思い出でした。それは、皆さん一人一人の気持、意欲を伝えてくれる糸でした。

#### 齋藤 瑞子

- ①1971~1986 ②数学
- ③紛争の後で校風は自主自立、新米の教師には分からないだろうとハッ岳合宿では飯盒炊爨等総て自分達で、驚きと期待の始まりでした。

#### 芝崎 茂夫

- ①1966~1979 ②化学
- ③1)学教法に触れそうな連日の生徒総会 2)新宿高校での生活 3)トマト・小松菜づくりの総合学習 4)読売化学賞の連続入賞。昨日のようだ。

#### 石森 勇

- ①1968~1987 ②社会
- ③1926・11月9日生れ、2009・11月現在83歳。自らの学力と人柄の深化、生徒諸君の個性・学力・志の深化をめざし、日夜努力！

#### 山田 徳蔵

- ①1969~1985 ②国語
- ③大川隆法総裁の「幸福の科学」の研究と圓基の研究にのめりこみ多忙の日々です。どちらも奥が深いので長生きをしなくては…。

#### 長谷部 英吾

- ①1970~1989 ②英語
- ③定年退職して14年、第二の人生ではギリシャ語を学び、古典文学を嗜ってスコレー(余暇、学校の意味あり)を過ごしています。

#### 井上 喜助

- ①1972~1987 ②物理
- ③竹早高校では、私自身の学習にも適した環境で過ごせたことに感謝しております。現在これを学参編集の仕事に役立たせています。



## 昭和40年代 (1965年~1974年)

### 加藤 宣夫

- ①1972~1982 ②生物
- ③幸い元気で81歳を過ごしています。歩こう会で低い山路を楽しんでいます。生物教室での諸君の笑顔がなつかしいです。ご活躍を乞う。

### 利根川 しげ子

- ①1972~1982 ②保健体育
- ③創作ダンスの発表会を体育館でしたことが一番の思い出です。男子の方も今でも先生と声をかけてくれて、とってもうれしいです。

### 松本 義男

- ①1974~1987 ②国語
- ③現役で東大合格した時代、生徒部主任として3年間「自主自立」を訴え続け、生徒のモットー化し得たことが、教師冥利でした。

## 昭和50年代 (1975年~1984年)

### 渡邊 義正

- ①1975~1988 ②数学
- ③部活は女子軟式テニス部を教えていました。担任は3回持ちましたが最後は1年で転勤。教員として一番充実していました。古稀です。

### 大和 昭治

- ①1979~1989 ②美術
- ③国画会会員審査員として国立新美術館に出品しています。又NHK学園その他アートスクールで教えています。卒業生も来ています。募集中。

### 天野 恵司

- ①1981~1997 ②数学
- ③竹早在籍17年のうち8年間担任をしましたが、担任がある無しに拘わらず明るく楽しい年月でした。私も健康を取りもどしてきました。

### 楳本 汎也

- ①1983~1993 ②生物
- ③校門を入ると琴の音が耳を捕える。前任の九段に比べ雅・繊細・挽やかな校風の竹早で我生涯最長の教員生活が始まろうとする日だった。

### 木村 勇三

- ①1975~1979 ②校長
- ③4年間勤めさせて頂きました。この間先生方、ご父兄の方、生徒諸君のご協力を頂き、厚く御礼申し上げます。平成21年10月25日

### 荒井 和子

- ①1978~1990 ②地理
- ③竹早では良い生徒に囲まれ、幸せな教師時代でした。現在は、俳句や水泳を楽しみ「ドングリや今が楽しき老後やも」です。

### 丸山 忠璋

- ①1980~1983 ②音楽
- ③授業で20時間も世界の諸民族の音楽を聴き、その経験をもとに日本の音楽教育の方向を変えることができました。皆様に感謝。

### 上山 良昭

- ①1982~1995 ②保健体育
- ③創立110周年おめでとうございました。徳永・海野学年でB組を担当し、特に時間に厳しく指導、クラスの生徒から大変嫌われました。

### 川田 節子

- ①1983~1998 ②保健体育
- ③イギリスの小説を読み、散歩し、週1回90分、卓球をしています。定年退職しているのに、もっと時間が欲しい毎日です。

### 山本 信夫

- ①1975~1976 ②教頭(生物)
- ③付属からの名門の伝統は教育制度激変の今も生きていますか。高校時代は人生の基盤、私米寿の今尚、卒業校の恩恵を受けています。

### 山田 隆哉

- ①1978~1983 ②化学
- ③29年間の教科教員の中の6年が竹早でした。級担任は最初の年だけで2年目からは生徒部で運動会の再開に盡力し55年に実現しました。

### 石井 俊彦

- ①1980~1992 ②英語
- ③8年間大学の非常勤をやり、退職したら胃癌が見つかり、胃を全摘し、1年になります。文字通りgutsが1つ減り静かにしています。

### 飯坂 恵子

- ①1982~1997 ②国語
- ③この春からNPO法人の小さなフリースクールを手伝っています。人と関わることの大切さ、難しさを思い知らされる日々です。

### 村中 駿博

- ①1983~1987 ②校長
- ③昭和60年、隣接地の学芸大学学寮跡地の取得に成功し、校舎全面改築の端緒を開くことのできたのが、一番の大きな思い出です。

## 昭和60年代 (1985年~1989年)

### 谷畑 三郎

- ①1987~1997 ②世界史
- ③平成7年の我が学年の北九州修学旅行は初めて飛行機を使ったお陰で、直前の阪神淡路大震災にもかかわらず、旅行が実現出来た。

### 藤野 功二

- ①1988~1999 ②国語
- ③70年生きてきて今教員経験者として言えることは、何人も例外なく自分の人生とは最終的に自己判断、自己管理、自己責任ですね。

### 海野 省治

- ①1988~1994 ②倫理、政経
- ③学年主任半ばで教頭に出てしまい、クラス学年の皆さんには未だに心残りです。退職後は全国普通科高等学校長会事務局にいます。

## 平成元年代 (1989年~1997年)

### 木村 正雄

- ①1989~1992 ②倫理
- ③知的な雰囲気校舎内外にただよふ竹早高で楽しく過ごさせていただきました。皆さんが知的に成長していく過程が頼もしく感じました。

### 佐藤 正典

- ①1990~2000 ②数学
- ③男子系から女子系の異動で最初は戸惑いました。個性がなくなりつつある都立高校ですが、旧制の良さを引き継いでもらいたいものです。

### 神作 博明

- ①1992~1994 ②英語
- ③三年という短期間ながら伝統と先端的教育、熱心な同僚、意欲的な生徒に恵まれ感謝しています。それ以後、大学に在籍しています。

### 河村 廣通

- ①1994~1999 ②国語(漢文)
- ③豊ヶ丘北公園の山やら、北公園の杜に囲まれた静寂な時道を楽しみ、町田の無窮會東洋文化研究所での史伝講座に人生を考える日々。

### 小林 祥男

- ①1995~2000 ②生物
- ③教師生活最後の竹早での5年間は、囑託という立場から、難しい問題にも関与せず、授業に打ち込めた、本当に楽しい日々でした。

### 浅野 治

- ①1997~1998 ②現代社会
- ③ある俳人の「控えめに生くる幸せ根深汁」にえらく感心した元生徒がいました。「隠れて生きる者こそよく生きる」も本当だと思う。

### 錦織 千サエ

- ①1989~1998 ②国語
- ③竹早高校に比較的近くに住んでいて竹早生や校舎を目にすることが多く、自分の母校の様な思い入れがある。在校生・卒業生ガンバレ。

### 杉内 重信

- ①1990~1992 ②校長(生物)
- ③あらゆる機会を利用して積極的に研修に励みその中から有意義な事項をメモし、それを活用して将来の夢を実現させる努力を期待する。

### 三輪 主彦

- ①1993~2000 ②地学
- ③退職して8年たちます。相変わらずサッカー、マラソンをやっています。正月国立競技場での高齢者サッカーに出るのが目下の目標です。

### 筒井 利行

- ①1994~1998 ②校長
- ③創立百周年おめでとうございました。平成6~9年度、定時制開校、校舎落成など竹早の歴史の転換点との遭遇が大きな思い出です。

### 杉谷 治行

- ①1996~2000 ②数学
- ③竹早生。目に浮かぶのが黒板を見ているみんなの顔、目。節度はあるがそれでいて結構自由奔放。燃えた学校行事。好きな学校です。

### 生田 輝穂

- ①1996~2006 ②世界史
- ③竹早高校で定年。現在青山高校で週4日勤務しています。地下鉄外苑前徒歩5分です。近くにお越しの折にはお立ち寄りください。

### 俵田 浩一

- ①1990~2000 ②保健体育
- ③校舎改築のため、体育や部活動を茗荷谷のスポーツセンターや湯島総合体育館等で実施したことが、今でも印象に残っています。

### 飯村 孝夫

- ①1991~1997 ②音楽
- ③改築に重なって、二度の音楽室の引越し、そして授業、クラブ、公開講座でのミュージカルへの取り組みが懐かしく思い出されます。

### 吉川 菜

- ①1993~1996 ②数学(非常勤講師)
- ③生徒の皆さんの気立ての良さや教科書の居心地の良さのお陰で、竹早は私の良さ思い出です。鳥仕事と野草、野草を楽しんでいます。

### 久住 和敏

- ①1994~2005 ②数学
- ③お久しぶりでございます。私は現在高島高校に勤めております。皆様も元気に頑張っておられることを願っております。

### 細田 盛夫

- ①1996~2006 ②地理
- ③百周年行事と記念誌「竹早の百年」に関わったこと、優れた教師や個性的な生徒達と共に過ごせた充実の10年が誇りです。感謝。

### 辻 忠則

- ①1997~2004 ②地歴(世界史)
- ③竹早では気骨ある管理職、仲良い同僚に恵まれ、大変楽しく生徒達と日々充実して過ごせたことに感謝しています。竹早は永遠に不滅です。

## 昭和60年代 (1985年~1989年)

### 大塚 朝治

- ①1985~1994 ②化学
- ③竹早高を定年退職後も化学と家庭菜園に携わっています。スクスクと育つ野菜を見ると元気に勉強していた竹早生を思い出します。

### 清水 武久

- ①1987~2001 ②英語
- ③身辺整理を第一の目的に教職を退いた今年。が、予期せぬ事態が次々と発生、またも多忙に。思い通りにいかないの人生。耐え忍ぶ。

### 鈴木 将

- ①1987~1995 ②物理
- ③科学に興味を！の願いを込めて、子供向けの本「目で見る物理」(さえら書房・翻訳)が昨年出ました。中学生以上にお薦めの1冊です。



平成10年代より(1998年～)

中込 勝英

- ①1998～1999 ②校長
- ③竹早も離れて10年となりますが、竹早生の当時の雨中での体育祭の熱戦や竹早祭でのすばらしい各種の演技を鮮明に思い出すことができます。

川島 明

- ①1998～2005 ②現代社会・政経
- ③皆さんお元気ですか？私は今春定年退職となり、今は週に4日囑託として勤めています。相変わらず元気に山登りを楽しんでいます。

牧野 茂

- ①1998 ②地歴(日本史)
- ③私の教師生活の最後の一年間を竹早で過ごせた事は、幸せであったと存じます。卒業生諸君諸嬢の充実した生活をのりります。

細田 裕美

- ①1998～2006 ②国語
- ③片江学年、城鼻学年の皆さんお元気ですか。同窓生でもある皆さんの思い出は、竹早を離れた今でも私を支えてくれています。

甲田 充彦

- ①2003～2006 ②校長
- ③大学時代から竹早は私の憧れであった。校長として過ごした3年間、素敵な生徒、職員との時空は、今も私の心に鮮明に蘇ります。

丸山 正広

- ①2004～2006 ②副校長(保健体育)
- ③女子の推薦入試倍率が一番高く非常に人気のある竹早高校でした。勤勉な生徒と熱心な先生に囲まれて楽しく過ごさせていただきました。

ご家族より、ご逝去のご連絡を頂きました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

藤田 政雄

- ①1941～1942 ②修身・公民教育
- ③平成18年9月25日に永眠いたしました。生前、みなさまには御世話になりました。既に同窓会の方には通知はしているはずですが、皆様の御多幸を御祈りいたします。(代 藤田芳子)

木村 幸雄

- ①1952～1963 ②生物
- ③長い間ご連絡を失念致してしまい誠に申し訳ございませんでした。父幸雄は平成15年秋他界致しました。ここに遅ればせながら御詫言や謹んでご報告申し上げます。平にお許し下さい。次男木村敏博

宮尾 幾夫

- ①1953～1978 ②数学
- ③せっかくお手紙を頂いたのですが、父は昨年5月に他界しまして、メッセージを送る事ができません。申し訳ございません。皆様によりよくお伝え下さいませ。

松原 磐

- ①1962～1968 ②教頭
- ③平成11年10月2日死亡

塩澤 利雄

- ①1963～1967 ②英語
- ③お手紙ありがとうございます。利雄は昨年8月他界いたしました。皆様と楽しく学校生活を過ごしましたことを大変感謝しておりました。 代筆(セイ子)

金子 史郎

- ①1964～1985 ②地学
- ③平成20年3月14日、死去いたしました。竹早の皆様との出会いは、彼の生涯の誇りだったと存じます。有り難うございました。妻 金子美智子

明比 孝雄

- ①1973～1986 ②保健体育
- ③兄明比孝雄は6年前に心臓病で亡くなりました。生前大変御世話になりました。有難うございました。皆々様の御活躍喜んで居ると思います。

濱道 彰

- ①1976～1987 ②国語
- ③平成17年故郷岩手で永眠致しました。生前のご厚誼にお礼申し上げますと共に皆様のご活躍をお祈り申し上げます。 濱道 靖子

梶 芳郎

- ①1981～1993 ②英語
- ③夫梶芳郎は、日比谷高校在職中、旅先のロンドンで急逝しました。卒業生の皆様が健康で御活躍される事を心から願っております。 正美

齋藤 加代子

- ①1982 ②英語
- ③妻加代子は昨年ガンのため他界しました。生前「竹早での授業は楽しかった」とよく語っておりました。ご交誼に感謝致しております。(夫代筆)

津田 龍一

- ①1995～1999 ②英語
- ③残念ながら平成20年4月28日病気のため死去しました。 津田 悦子(妻)



好きですか

磯貝 恵三

高校7回生 昭和30年卒

会員のみならず、先生がたやPTAの皆さまのご支援を得て、いろいろな企画が発展充実した1年でした。3回目となった「篁寿会」は笑顔と活気にあふれ、4回目の竹早祭協賛「お休み処・たかむら」は本格コーヒーの評判が広まり、連日満席でした。「篁会特別セミナー」も2年目、理系の同期3人組の講義には生徒の関心が集中しました。「学年幹事連絡会」では学区や学校群制度の問題、高校時代の確執なども話題になります。それらの甘酸っぱい追憶も下敷きにして、愛される篁会のすがたづくりが進んでいます。

昨春、久しぶりにソウルを訪ねました。円高の波によって日本人街と化した明洞や仁寺洞を素通りし国立博物館へ。そこのフードコートで同席した小学生から丁寧な日本語で話しかけられました。いま6年生、日本語は独学で、将来は日本との交流に役立ちたい。そんな会話のあと「韓国を好きになってください」といい残し友人の輪に戻りました。愛する人がいて愛される国がある。羨望のひと幕でした。

帰路の地下鉄では「昭和5年生まれですよ」という男性に

遭遇。ご自身のルーツに関わる韓国の歴史や日本との交流関係にも触れ「だから日本と韓国は一心同体、これからは仲良くしなければ、ね」と日本語で。「そうですとも」と頷きながら、もしこの場面がわが国の車内だったら、と考えました。異国の人にはつい背中を見せてしまいがち。育みたいです。隣人愛。

好きこそものの上手なれ。下手の横好き。どっちもゲー。要は関心を寄せたら好きになること。道草野次馬大賛成。人であれ物事であれ、好きな対象が多いほど幸せ感が高いことを、かつて行ったアンケート調査で見出しました。高学年になるほど薄れるといわれる好奇心を再燃させたい。そのための火種やつけ木になる。篁会がそんな役割のひとつを担えればと思います。

この会報も同窓会への関心度と相まって紙質向上、カラー化、A4版、増ページと成長してきました。会報は会員交流の場、これからも皆さまの動向などをお寄せください。そして、どうぞ篁会を好きになってください。

高校創立110周年を迎えました。会員各位のご健勝とご活躍をお祈りいたします。



がんばれ“森麗”!

浅田 博

竹早高校校長

篁会の皆様方には、竹早高校に温かいご支援を賜り、深く感謝させていただきます。昨年7月には、竹早高校卒業生の方々に講師とする「第2回特別セミナー」を主催していただき、在校生は多くの刺激を得ることができました。磯貝会長をはじめ、多くの皆様のご協力に、改めてお礼を申し上げます。

いつもこの欄では、校長として生徒に伝えたいことの一例を紹介させていただいております。一昨年度は、「旭山動物園に学ぶ」、昨年度は、「箱根駅伝(東洋大学駅伝チーム)に学ぶ」でしたが、今年は、あまりなじみのない上記のタイトルにいたしました。

「森麗」といっても、聞いたことがない方が多いと思いますが、大相撲の力士の名前(しこ名)です。「ハルウララ」といえば、高知競馬の人気馬で、113連敗しても多くの人々に勇気を与えたことで知られています。その「ハルウララ」にちなみ、「負けてもみんなに愛される力士になって

ほしい」という願いをこめ、親方たちが相談して決めたのが、この「森麗」というしこ名です。

このお相撲さん(森麗)もすごい記録を持っています。このしこ名に改名した直後、昨年11月の九州場所勝ち越すまで、なんと38場所連続負け越しを続けていました。それまでの負け越し連続記録は、23場所ですから、大記録です。度重なる負け越しに親方も「ボチボチいいだろう?」と何度となく引退を勧めたそうですが、そのたびに森麗は泣きながら「辞めたくない…」と訴えたということです。九州場所中も、自由時間に宿舎前の坂道でひたすらタイヤを引き足腰を鍛え、ついに勝ち越しを決めました。この相撲への情熱と努力を学びたいと思います。

教職員、生徒、保護者、同窓会の方々と共に、竹早高校の発展を目指して歩んでいくつもりです。皆様の益々のご活躍とご健勝、篁会のご発展を祈念させていただきます。

浅田先生は3月末日をもって定年退職され、4月から丹藤浩校長先生が着任されました。



# 竹早高校創立110周年記念事業

## シンボルマーク(またはキャラクター)のデザイン募集!

あなたのデザインが創立110周年を彩ります

竹早高校創立110周年を記念して箠会ではシンボルマーク(またはキャラクター)のデザインを募集いたします。当選作品は竹早高校および箠会の広報に活用いたします。皆様ふるってご応募ください。

### ● 募集期間

2010年5月1日(土)～9月30日(木)必着

### ● 募集内容

- ①竹早、TAKEHAYA、もしくは箠会、TAKAMURAの文字が加わることも考慮してください。
- ②A4版(210mm×297mm)白地用紙を使用し、上下がわかるようにしてください。
- ③画材、色彩とも自由ですが、モノクロで使用されることも考慮してください。
- ④CG作品の場合、作品のデータとA4版白地用紙に出力したものを添付してください。
- ⑤応募点数に制限はありませんが、1枚につき1点とします。

### ● 応募資格

- ①竹早高校在校生、同校関係者(教員、事務)
- ②箠会会員
- ③竹早高校在校生の保護者

### ● 応募方法

- ①氏名(ふりがな) ②住所
  - ③連絡先(Tel/Fax/Eメール)
  - ④学年、卒業年など高校との関係
- 以上を作品の裏面に添付してください。

### ● 送付方法

郵送先:〒179-0073 東京都練馬区  
田柄2-16-12 アトリエ・バン  
創立110周年記念 シンボルマーク募集係  
Eメール:ban.syoubu@mocha.ocn.ne.jp

### ● 応募条件

- ①応募作品は、入選・落選にかかわらず、返却しません。
- ②入選作品の著作権等は、箠会に帰属します。
- ③入選作品は、使用の際に一部修正・加工する場合があります。
- ④入選作品は、今後の竹早高校、箠会のPR活動等に使用します。

### ● 選考及び入賞作品の発表

箠会、高校関係者にて構成する選考委員会にて選考し、後日連絡いたします。

### ● 表彰

- ①最優秀賞:1点(賞状ならびに副賞)
- ②優秀賞:2点(賞状ならびに副賞)
- ③佳作:5点(記念品)

問い合わせ先 箠会事務局 Eメール  
anniversary@takamurakai.com

## 創立110周年記念 オンライン・タイムカプセル

2020年の自分たちにメッセージを!

クラスの仲間たちとタイムカプセルを埋めてみませんか? 場所は箠会のウェブサイト。  
2020年の自分たちにメッセージを贈りましょう。

### ● 募集期間

2010年5月1日(土)～9月30日(木)必着

### ● 募集内容

- ①クラス、クラブ単位で申し込んでください。
- ②10年後の自分たちに向けたメッセージをホームページ形式で作成してください。
- ③募集数は30サイトとし先着順で受け付けます。1サイトにつき500MB以内とします。

### ● 応募資格

- ①竹早高校在校生
- ②2000年3月以降に竹早高校を卒業した方

### ● 応募方法

代表者を2名選び、趣旨とおおまかなサイトマップを書面で提出してください。書式は自由です。

### ● 送付方法

Eメールのみの受け付けとします。  
Eメール:time\_capsule@takamurakai.com

### ● 応募条件

- ①htmlでサイト形式で作成していただきます。
- ②データはCD-Rに記録し、指定した場所に郵送していただきます。

### ● 作品の公開について

- ①公序良俗に反する内容が含まれる場合は掲載いたしません。
- ②2020年の公開時にアクセス制限をかけることはできません。
- ③著作権は応募者に帰属しますが、箠会による公開を前提とします。
- ④公開日は10年後の2020年11月7日(土)とします。

問い合わせ先 箠会事務局 Eメール  
time\_capsule@takamurakai.com

## 竹早高校創立110周年記念式典

今年は竹早の前身である東京府立第二高等女学校が設立されてから、ちょうど110年目という節目にあたります。創立110周年の記念式典ならびに祝賀会は下記の日程で行われます。詳細が決まり次第、竹早高校、箠会のホームページでお知らせ致します。

### ● 記念式典

日時/2010年11月6日(土)  
10時～12時30分  
場所/竹早高校 体育館  
主催/竹早高校  
※在校生・校外の来賓のみで行いますので卒業生は参加できません。

### ● 祝賀会

日時/2010年11月6日(土)  
16時～18時  
場所/アルカディア市ヶ谷(私学会館)  
※参加者は平成12年度～平成21年度の卒業生に限ります。





「新しいもの好きな学校？」

高松 尚弘 先生

英語科担当  
(昭和49年4月～平成6年3月在職)

竹早高校に20年もお世話になりました。退職して15年経つと、記憶もおぼろですが、思い出すことを書いてみます。

赴任した頃は、学校群制度が行われていて、竹早高校は小石川高校と41群を組んでいました。当時、私立高校も含めて、最も入学が難しい学校の一つだったのです。当然、生徒は優秀でした。学校の良し悪しは生徒で決まる、というのが私の考えです。その意味で、いわゆる「いい学校」だったのです。(今もそうでしょう。)思い出の中の生徒諸君は、みな個性的で温かく、勉強も、そのほかのこともよく出来る優れた人たちばかりです。

当時としては先進的なことも行われました。その一つが、「帰国生徒学級」です。「帰国子女」が耳新しく語られていたころです。外国の学校で教育を受けた生徒を帰国時に受け入れる高校が少なく、問題でした。それでは都立としてはウチがやろうか、と始めました。事前の話し合いでは、さまざまな困難が予想されましたが、始めてみると、思っていたほどではなく、生徒諸君の優秀さや柔軟さもあって、順調に滑り出しました。「帰国学級」でなく、「国際学級」や「国際学校」はどうか、などと、担当の岡先生や他の先生方と話し合いました。数年後には都立国際高校が創立されました。

自分が生徒の時代に英語を聞き話す訓練をされていなかった私は、はじめ戦々恐々でしたが、とにかく始めてみよう、とやりだしたのが、現在では普通に行われている授業への外国人助手の導入(英語、仏語)です。都立高校でも一番初期のころでした。その後、このやり方も急速に全国に広まってきました。

新しいことが多く、毎日汗顔の20年でした。



「竹早高校の新生なる」

石森 勇 先生

社会科担当  
(昭和43年4月～昭和62年3月在職)

私の都立高校勤務は、昭和27年10月から、上野高校16年と続く竹早高校19年の合計35年間です。ひとつの学校に10年以上勤務するものは異動が望ましい、という声が高まる。移るとなると旧男子校の上野高校に匹敵する旧女子校は、一女、二女、三女と学習院女子部しかない。女子校と女子師範の併学という珍しい名門の竹早高校への異動を申告。竹早高校の先生と交換の形で昭和43年4月から勤務。

全校集合で、生徒達のおしゃべりのうるさいこと、「だまれ」と教頭の一喝。すぐさまざわめく。授業中はシーンとして活気なし。教員室も静まりかえっている。二人のボス教師の威圧の下、大半の教師はボスにひれ伏し、若干の抵抗教師、校長の監督及ばず。学校組織、運営、授業など異常なく、名門高の美風、伝統の姿は消えていた。

勤務2年目、私の案で校長の認可の下、一学年をスタートするも、学校紛争が起き、生徒権宣言なるものが出て再出発。生徒もストライキと生徒集会だけでは何も生まれぬことを知った。教育委員会、文部省(当時)の指導力はゼロだった。

教員の入れ替えが続き、竹早再建への協力体制も出来上がりつつあった。社会科教師としては、政経・日本史に全国的に活躍する実力者に来てもらった。学年運営では、3年間の教育目標を、原石を磨く心得、授業第一主義に徹する、父母との緊密な連絡、現役合格70%以上、を目標とする。先生方の共通目標に向かっての努力、生徒諸君の自発的努力で、竹早高校が生まれ変わっていった。

簗会の皆様には、今年度も生徒達の教育活動への多大なるご支援を賜り、誠にありがとうございました。生徒一人ひとり竹早高校の同窓会・簗会に深く感謝をしております。また、教職員一同厚くお礼を申し上げます。

教育活動に係わる貴重な用品等への支援とともに、第2学年では、進路学習並びに将来の進路を考える上で貴重なセミナーを開催していただきました。(簗会特別セミナー 平成21年7月7日に開催)。

生徒達は、社会の一線で活躍されている先輩方を間近に見られたことで、先輩方の力強い社会人としての生き方を体感し、自らの将来をしっかりと見つめ直す機会になりました。講師の方々も生徒達のことを考えていろいろと講演内容を工夫していただき、誠に感謝しております。

今年度竹早高校は、広報活動に重点をおき学校運営を行ってまいりました。授業公開、夏季休業中の学校説明会、2回のオープンデー・学校説明会、竹早祭等で学校を訪問した中学生

とその保護者の数は、中学生延べ2,742名、保護者延べ3,436名と昨年度を大幅に上回りました。これもホームページをリニューアルし、竹早高校の教育活動をリアルタイムに発信している成果と考えております。

簗会の皆様におかれましても、ホームページをぜひともご覧いただき、本校の教育活動、ならびに生徒たちの活躍している姿をぜひ見ていただきたいと思っております。

生徒達は、学習はもとより、学校行事、部活動等の両立を目指して高校生活を送っています。都立高校が多様な生徒を教育するために、いろいろと特色化を出し変化していきこうと模索している中、竹早高校は、大切な伝統を守り続けながら、その伝統を竹早高校の特色・味とし、現代の高等学校として力強く将来に向かって躍動しています。

他の都立高校とは違う味=伝統をいつまでも大切に守り続けることが竹早高校だと思っております。

平成21年度の主な行事

- 4月 始業式(6)、入学式(7)、対面式(8)、3年保護者会(11)、健康診断(16)、①校外学習(30)
- 5月 体育祭(15)、父母と教師の会総会(16)、竹早塾(17)、中間考査(28-29)
- 6月 中間考査(1・2)、避難訓練(2)、授業公開(6)、2年進路オリエンテーション(18)
- 7月 期末考査(1~6)、進路説明会(3)、②簗会特別セミナー(7)、模擬試験(14)、終業式(17)、夏季休業日始(20)
- 8月 ③夏季合宿、④学校説明会(10回)
- 9月 始業式(1)、1・2年課題テスト(2)、受験説明会(3)、竹の子祭(10・11)、⑤竹早祭(12・13)
- 10月 ⑥オープンデー(学校説明会)(3)、2年北海道修学旅行(6~9)、中間考査(22~27)
- 11月 開校記念日(7)、模擬試験(14)、⑥オープンデー(学校説明会)(28)
- 12月 期末考査(8~11)、大学説明会(15)、2年進路講演会(21)、終業式(25)
- 1月 始業式(8)、1・2年課題テスト(12)、推薦入試(27)
- 2月 1・2年模擬試験(5)、学力検査(23)、⑦国際理解講演会(24)、⑧保護者のための進路講座(27)
- 3月 学年末考査(2~5)、卒業式(6)、芸術鑑賞(11)、修了式(25)

①校外学習

- 1 学年:相模湖ピクニックランド 2 学年:羽田・横浜中華街
- 3 学年:ディズニーリゾート ディズニーシー

②簗会特別セミナー

- 1 これからの「くらしのかたち」を考えるデザイン(7回生)
- 2 陶芸入門 一手仕事のよろこび(20回生)
- 3 生きて働かせる言葉 一朗読の醍醐味(18回生)
- 4 大学で何を学ぶか(23回生)
- 5 ジャーナリストの面白さとは?(23回生)
- 6 彫刻家の仕事 一考える手(24回生)
- 7 理系専門分野を思う(29回生)
- 8 ニュース最前線 一テレビ報道の現場(34回生)

④夏季合宿

吹奏楽部、天文部、美術部、箏曲部、バドミントン部、男女バスケット部、水泳部、サッカー部、ダンス部、ソフトテニス部、男女硬式テニス部、男女バレーボール部、陸上競技部、軟式野球部

以上 17部 345名が参加

- ④学校説明会(10回) 参加者:中学生819名 保護者621名
- ⑤竹早祭 来校者:中学生1,326名 中学生の保護者2,238名
- ⑥オープンデー学校説明(2回) 参加者:中学生452名 保護者484名
- ⑦国際理解講演会 講師:東田明希子(日本語教師の先生)
- ⑧保護者のための進路講座 講師:四谷学院 進路指導担当
- 竹早塾(8回) 参加者:1年 275名 2年 70名 3年 5名

進路状況(合格者数一覧) 平成22年3月25日現在

- 国公立大学
  - 埼玉大学(3)、埼玉県立大学(2)、首都大学東京(3)、千葉大学(7)、筑波大学(1)、東京工業大学(1)、東京農工大学(1)、新潟大学(1)、横浜国立大学(1)
- 私立大学
  - 青山学院大学(15)、桜美林大学(2)、大妻女子大学(1)、学習院大学(6)、神奈川大学(1)、神田外語大学(2)、北里大学(5)、共立女子大学(1)、杏林大学(2)、慶応義塾大学(5)、工学院大学(1)、国士館大学(1)、駒澤大学(5)、芝浦工業大学(15)、順天堂大学(2)、上智大学(9)、昭和大学(2)、昭和女子大学(2)、成蹊大学(4)、成城大学(1)、聖路加看護大学(1)、専修大学(6)、大正大学(1)、大東文化大学(2)、玉川大学(5)、千葉工業大学(1)、千葉商業大学(1)、中央大学(11)、帝京平成大学(1)、東海大学(2)、東京医療保健大学(2)、東京家政大学(5)、東京経済大学(1)、東京電機大学(3)、東京都市大学(3)、東京農業大学(5)、東京薬科大学(4)、東京理科大学(21)、同志社大学(1)、東邦大学(3)、東洋大学(30)、獨協大学(8)、日本大学(1)、日本獣生命科学大学(1)、日本女子大学(4)、文教大学(2)、防衛医科大学校高等看護学院(1)、法政大学(22)、武蔵大学(3)、武蔵野大学(3)、明治大学(35)、明治学院大学(12)、明治薬科大学(1)、明星大学(1)、立教大学(30)、麗澤大学(1)、早稲田大学(12)
- 短期大学
  - 青山学院女子短大(3)、大妻女子短大(1)、東京家政大短大(2)、東京農業大短大(1)、立教女学院短大(1)



## 在校生の活躍紹介

竹早生のほとんどが積極的に参加し、青春の健在ぶりを示す部活動。中でも華々しい活躍で注目を浴びる二つのクラブを紹介します。

### 美術部

部長 高島 明日香

こんにちは。私たち美術部は一年生7人、二年生5人とわりと多い人数で和気藹々と活動しています。顧問の先生は美術の授業でお馴染みの朝川千鏡先生です。美術部は主に美術室で活動し、平日なら毎日部室が開いているので部員は好きな時に活動ができます。

美術部は部費を集めない代わりに、各自材料持参としています。なので、部員たちは自分のやりたい美術製作を行っています。油絵やデッサン、クロッキーなど、また、イラストを描く人もいます。幅広い分野の美術製作をできるのが竹早美術部の特徴です。

夏には山梨県にある竹早山荘へ合宿に行きます。去年は箏曲部と天文部の皆さんと一緒に三泊四日で行ってきました。宿舎の周りにある大自然の風景画や、風呂場の壁画を描くなど、普段できないような美術製作ができ、とても思い出に残るものでした。そして何よりも、部員との仲がさらに深まったことが嬉しかったです。

美術部が一番忙しくなる時期、それは文化祭です。文化祭

では、部員各自の作品と、部員を分けて数人で大きな作品をつくる“グループ制作”を展示します。去年のグループ制作では西洋の建物や、オリジナルの不思議な家をつくりました。スケールが大きいので時間と体力を必要としましたが、グループ制作を完成させた時の達成感はとても言葉では表せない素晴らしいものでした。

これからも私たち美術部は制作に励み、日々上達していきたいと思います。



### 陸上部

キャプテン 吉田 健太

陸上部は現在都大会で戦える選手の育成と自主自律の精神の育成を行っています。かつては実績に記している通り都大会でも上位入賞を争う部活でしたが、数年前に伝統が途切れてから都大会出場が精一杯となってしまっています。この停滞してしまった現状を打破すべく、08年度入学生が改革を始めました。その過程で掲げたのが「自主自律」です。

「自主自律」は関東大会に出場していたころの先輩方を見習って、各個人の意識の向上を狙うとともに、競技面だけでなく社会の一員としての自覚を身に付けることを目的としました。それを基盤として部活動に精進していますが、練習設備が整っていないことや、他の仲間や学校側の理解も十分でないことなど、課題もあります。今後一層のご協力を得て、状況を改善していけたらいいなと思っています。

かつて都大会で名を連ねた陸上部復活に向け練習に打ち込んでおりますので、ご支援をよろしくお願いたします。

- 実績/インターハイ出場('03)  
関東大会出場('99~'03)  
都大会上位入賞10回('99~)  
都大会出場 毎年('98~)  
※98年度以降の記録しか現存せず
- 現在の目標/都大会上位入賞、関東大会出場



## 第三回 篁寿会(をとめの会改め)開催

第二高女の拡大版同期会です

2009年9月12日(土) 学士会館にて開催



2009年度もいつもの学士会館の、いつもの部屋で9月12日に開催されました。

今回は特別アトラクションを設けず、篁会の会員から提供されたもの、また城戸崎愛さまからプレゼントされた全員にわたる数の景品など、全員が二つずつあたる抽選会だけでしたが、久しぶりに集まるお仲間とお話はずみ、最後まで和気藹々とした雰囲気でした。

会報にお知らせを同封する、という試みは、ちょっとばかりご案内の時期が早すぎたか、例年より参加人数が少なくなりましたが、通信費を節約することで、会費を1万円から8千円にさげることができました。

次回のご案内も会報に同封でお届けすることにいたしますが、返信のはがきで、「出席」あるいは「出席予定」とご回答くださった方には、夏にもう一度確認のご案内を差し上げますので、安心してお申し込みください。

高女に入学なさった方々、ぜひこの場をクラス会にご利用くださいませ。

ご案内に記載の世話人、あるいは篁寿会事務局へご相談くだされば喜んでお手伝いさせていただきます。



### 次回 第四回 篁寿会

2010年9月18日(土)会場はいつもの学士会館です。詳しくは会報同封のご案内をごらんください。たくさんの方のご出席をお待ちしております。



# 「篁会特別セミナー」 (第2回)を開催!

2009年7月7日(火)  
13時～

7月7日(火)13時～  
【篁会特別セミナー】  
夏休み13時～15時  
理系専門分野からもう一歩踏み込んだ学びを体験しよう  
〇生きて働きかける言葉-朗読の醍醐味  
〇大学で何を学ぶか  
〇ジャーナリストの面白さとは?一人のできない体験  
〇ニュース最前線-テレビ報道の現場  
〇彫刻家の仕事-考える手  
〇陶芸入門-手仕事のよろこび  
〇これから「くらしのかたち」を考えるデザイン  
7月7日(火)13時～15時  
7月7日(火)13時～15時

2回目となる「篁会特別セミナー」が2009年7月7日(火)に行われました。

先輩たちの仕事ぶりを紹介することで、大学受験の先にある社会人生活をイメージしてほしい。そんな動機から計画された出前授業の2年目です。

今回は「総合的な学習の時間」の一教科として位置づけられ、各講座には2学年のクラス担任の先生をはじめ、多くの先生が参加されました。PTAの方がたにも当日の準備と反省会、さらに受講メンバーに加わるなど、多面的なご支援をいただきました。皆さまに感謝申し上げます。

セミナーの講師陣も少しですが若返りました。

同じクラスの卒業生3人が理系の講座を受持ちました。エネルギー、医療、放射線医学それぞれの分野で活躍している古関さん秋元さん志賀さんの仲良し3人組です。社会ニーズに裏打ちされた講義内容とスマートなプレゼンはいささかハイブローでしたが、先端科学技術分野の一場面が理解されたはずでした。

理系希望者にまずは羅針盤を、という講師側の意向もあり、ひとつの講座を3人で担当しましたが、ちょっともったいないので次回はのれん分けしたら、という感想も聞かれました。

母校漕艇部の監督でもある水田さんの講座は「大学で何を学ぶか」という受験生に直結するタイトル。学習方法や姿勢への具体的示唆に、励ましをいただいたと受講生。

講師情報熱烈歓迎、自薦他薦不問。  
理事、学年幹事にご連絡ください。

今年は7月9日(金)に開講します!

百周年記念モニュメント「夢の風」の作者、陶芸の伊藤さんと彫刻の小堤さんは今回も登板です。伊藤さんは前回と同様に陶芸材料と道具一式を運び込み、手で考える仕事の楽しさを直伝しました。

マスメディア分野からも協力をいただきました。多くの新聞社に世界の最新情報を配信している通信社の二藤部(にとべ)さんはイラクやソマリアなどでのナマ体験を熱く伝えました。

NHKのBS1では、ほぼ毎定時にニュースを放映しています。その編集責任者をつとめる戸次(べっき)さんからはニュースのウラオモテを見分けるワザも教わりました。でも、その前にちゃんとニュースを見なくちゃね、と。これは高校生へのお願い。

フリーアナウンサーの山地さんは、声にだして読むことに読書の醍醐味があることを、朗読演習を通じて実証してくれました。

磯貝さんの前歴はメーカーのデザイナー。○△□という基本図形の組みあわせでどんな形状も創出可能、これが立体デザインの基本である、と黒板にスケッチ。

\*

これからも講座を継続し発展させたい。そのためには講師陣容の拡充が必至です。自薦他薦を問いません。理系、文系、その他系なんでもアリです。会員一人ひとりの生きざまが在校生の羅針盤となります。ご協力をお願いいたします。



## 特別セミナー講義科目名と講師紹介(高校生から近い順に)

ニュース最前線-テレビ報道の現場 公共放送報道番組ディレクター 戸次 聡史(高校34回生)

理系専門分野を思う-進路の羅針盤は何かを考えよう  
エネルギー・医療・放射線医学 古関 恵一/秋元 哲夫/志賀 利一(高校29回生)

彫刻家の仕事-考える手 彫刻家 小堤 良一(高校24回生)

大学で何を学ぶか 会社経営・大学ポート部監督 水田 茂夫(高校23回生)

ジャーナリストの面白さとは?一人のできない体験  
通信社ビジュアル報道責任者 二藤部義人(高校23回生)

陶芸入門-手仕事のよろこび 陶芸家 伊藤麻沙人(高校20回生)

生きて働きかける言葉-朗読の醍醐味 フリーアナウンサー 山地 洋子(高校18回生)

これからの「くらしのかたち」を考えるデザイン  
プロダクトデザイナー 磯貝 恵三(高校7回生)

## 〈セミナーその後〉受講生からある依頼が...

戸次 聡史(高校34回生)

去年の秋ごろ、竹早高校の先生から電話がかかってきました。「AO入試(論文や面接で選考する入試)で大学を目指している生徒が「文章のプロ」であるあなたに論文の指導をしてほしいと言っているが協力願えるか」。望外の喜びです。「文章のプロ」というのは買いかぶりの誤解です。私はテレビ局の記者として、取材し、ニュース原稿(ニュース番組でアナウンサーが読む原稿)を書いてきましたが、ニュース原稿は「しゃべる」言葉を予め原稿に「書く」という特殊な文章であり、一般の論文で通用する「プロ」ではありません。なぜこのような依頼が? 私は去年の篁会セミナーで「ニュースの現場の実際」といったテーマでお話し、受講して下さった生徒からの依頼だったので。誤解であっても意気に感じます。早速、受験する大学の出題傾向を調べるなどしていると、生徒から過去の問題で書いた小論文が送られてきました。仕事の合間を縫って、というより仕事に支障の

ない限り最優先で添削し、3回推敲し、速やかに返送しました。「この密度とスピードで仕事にも取り組みばもう少しマシな社会人になれたかも」と思うほどでした。ただ返送した小論文に「やめたいと思ったらすぐやめていい」「やめます」と申し出る必要もない」と書き添えました。重荷になったり気がねされたりするのは本意ではないからです。案の定というか、「やめさせて下さい」という連絡がほとんど来ませんでした。「予備校の授業の進度が速く両立できそうにない」とのことです。添削された小論文を見て「こいつは信用できない」と思ったのが本音かも知れません。それでいいのです。若い時には前のめりな思い込みがあるものです。イヤミや皮肉ではありません。頼ることも、疎ましく思うこともできるOB・OGがいるのは伝統校ならではのものです。試行錯誤しつつも世代を超えた交流ができれば篁会の存在意義も高まろうというものです。またいつか若い皆さんのお役に立てるよう念じています。



# 竹早エコー

Takehaya Echo

伊藤 孝 高校19回生(昭和42年卒)重67回生

## 不思議な「縁」

何で、私がこんな所に? 私も不思議に思います。

7年前、愛娘を亡くし、悲嘆に暮れていた私達夫婦が、偶然江戸東京博物館で開催されていた、「高橋まゆみ人形展」で出会った1体のお地藏様の人形、娘が赤ん坊の時の顔と瓜二つだったのです。

係員の方に聞いても「販売はしていません」との返事、ホームページを探し、直接メールをしたところ、高橋先生も18歳の姪娘さんを交通事故で亡くした経験をお持ちだと言って、そのお地藏様を私共にくださったのです。

彼女は長野県北部、豪雪地帯飯山のアスパラ農家に嫁ぎ、人形作りをしている作家です。

そして、その後、池袋の西武デパートでの展覧会に、出品していた人形の小物で、カキ氷の機械と、旗が、いかにも急場しのぎで間に合わせたという感じだったので、私が作って勝手に高橋先生の所へ送りつけたのです。

普通「素人が出しゃばって生意気な!」と、プロとしての自負心に傷を付けられて怒るところですが、「良くできているから、今度から使うね」との返事でした。

数年前「自転車作れる?」と絵本が送られてきました。

「お祖父さんが孫を後ろに乗せて、前籠に犬に乗せている人形を作りたいの」

何とか作り、飯山へ送ると、今度はお人形が付いて送り返されてきました。ハンドルやペダル等を作り変え、漸く完成。

今では、本や、パンフレットにも載る、代表作の一つとなっています。



その後、人形が読む新聞、地図、焼き芋屋の屋台、おでん屋の屋台等を作っています。

高橋先生の人形の小物作りが、現在の私のライフワークのひとつになっています。写真は昨年「徹子の部屋」へ再度出演されたので、野次馬としてくっついて行った時のものです。

私は、拍手の音だけの出演でしたが、徹子さんは気さくな方で、収録後記念に写真を撮らせて戴きました。

岩瀬 正司 高校20回生(昭和43年卒)重68回生

## 還暦

還暦の年に同窓会の幹事をやることは誰が何時決めたのかはよくわかりませんが、気がついたら我々高校20回生に出番が来ていました。還暦、60歳、高齢者、老人、お年寄り……そんな年齢になってしまったのかということは今でも信じられません。まだまだ若いと思っているのは自分だけで、世間様は違う評価を



しているのでしょう。自分たちも今迄そのように人様を見ていたのですから仕方が無いといえばそれまでなのですが。

さてその我が母校竹早ですが、男女共学のはずが男女別学級だったり、男子トイレの狭さに驚いたり、同じ校舎の中に中学生がいたり、自分より頭の良い女子が圧倒的にいたり、テストの上位ランカーが廊下に張り出されたり、喫茶店に入っただけで職員室に呼ばれて怒られたり、上履きそのまま土の校庭で遊んだり、その靴のまま体育館に入ったり、運動会が「紫白対抗」だったり、その運動会の応援用大デコレーションをつくるのに間に合わないからといって無理やり学校に泊り込んだり、幻の東京オリンピックの選手だったという先生がいたり、俺はいつも二流の人生を歩んでいると聞いて東京教育大(現筑波大)卒を卑下しているのだから自慢しているのだから判らない先生がいたり、ドンキンとかカードロとかオメガとか先輩達から代々伝わったあだ名で呼ばれる名物先生がいたり、私達が生まれる前から竹早で教壇に立っていらっしゃる先生がいたり、現在の竹早高校とは隔世の感がある学校で、とにかく思い出がたくさん詰まった3年間を過ごしました。

当時は「これが青春だ」「青春とは何だ」という所謂青春ドラマ最盛期の時代でした。TVドラマと高校生活が重なり、勉強は嫌いだけれど学校が大好きだった私は、「高校生活=青春」の光と影を体験して、教員の道を選びました。縁あって東京の公立中学校に籍を置きましたが、それも還暦と共に幕を下ろします。調布、墨田、板橋、中野、世田谷の中学校・教育委員会で計38年間の教職生活でしたが、最後の還暦の年を、「心のふるさと」である竹早のことにかかわることができたのも何かの縁と思います。

進 護 高校28回生(昭和51年卒)重76回生

## 日本の地方の素晴らしさ

都会の真ん中の高校を卒業し三十四年が経過した。長年何の疑問も抱かずに都会での暮らしを続けてきた訳だが、年齢を経るに従い、日本の自然の美しさ、地方の素晴らしさに惹かれるようになってきた。先日九州に向かう機内から日本列島を改めて眺めてみた。堂々とそびえ立つ富士、深い緑に覆われた本州の山々、入り組んだ海岸線に寄り添う瀬戸内海の島々、この国の美しさを改めて認識する機会となった。そして広がる眼下に点在する家々、そこで日々営まれている人々の生活、日本人としてこれからも大切に守り続けるべきものとの想いを強く感じたのであった。

先日ある雑誌で長崎県の離島、小値賀島の記事を読んだ。九州の西の果てに位置する人口



三千人の小値賀島は、民泊事業で島おこしを行っているそうである。大昔より貿易の中継地として栄えたこの島は、島外の人々を気さくに迎える文化とおもてなしの心が自然に根付いた島とのこと。この島に毎年米国の民間教育団体から高校生の国際親善大使が派遣されて来る。

三泊四日のプログラムを終えた港では、島民と米国の高校生達がお互いに抱き合い涙涙の別れになるそうである。この民間教育団体は世界中に親善大使を派遣しているが、アンケートの結果、二年連続でこの小値賀島がダントツ世界一の評価を得たとのことである。「こんなに親身にお世話になったのは初めて」「島で過ごした時間を生涯忘れない」と言葉も通じない米国の高校生達が書き記している。

実は、日本の地方の素晴らしさに気付いていないのは、我々日本人なのではないだろうか。そんな想いもあり、その素晴らしさを少しでも世の中に伝えられればと考え、三十年間勤務した商社を

退職した。日本の地方に関わっていく、それが自分の人生においてやり残せない何かだと感じた次第である。

尹=ヘンドリックス 恵美 高校31回生(昭和54年卒)重79回生  
アメリカでの生活20年

私が渡米したのは1987年の9月。デザインの専門学校を卒業後、2年間のグラフィックデザイン事務所と、2年半の外資系航空会社勤務の後での決心でした。コマーシャル・フィルム制作の仕事がしたくて、某広告代理店の求人広告に「経験不問・若干名」とあったので電話したところ、「(既に)25歳で女性じゃ、日本じゃ誰も雇いませんよ」と言われ、「それじゃ、日本を出てCF制作の仕事を得てやる!」と思ったのがきっかけでした。でも、どの国へ行きたいか、具体的なアイデアは、この時点ではありませんでした。



竹早での英語の成績が、おそらく学年の下から数えて5本指に入っていた私に、事もあろうに英語圏で生活をしようと決心させたのは、ハワイのマウイ島への旅行でした。

老後はこんな静かで気候の良い所で暮らしたいと、その時は思いましたが、その後渡米して、ニューヨークに10年、ニュージャージー州のホーボーケンに10年暮らす事になります。その間、2年ほどビデオ・プロダクションを経験したり、玩具のパッケージ用にスパイダーマンやXマンを描いたりする仕事をしました。2007年から2年間は夫の仕事の都合で、一家4人で日本に帰って暮らしました。その間中学以来の書道を習ったり、着物の着付けを習いに行ったりと、日本にいるからこそ楽しめる事を経験する事が出来ました。

竹早に入学して、最初の大竹先生の英語の授業で、クラス中が震え上がったのを今でも思い出します。あれから30年以上が過ぎ、13歳になった双子の娘と息子を相手に、家では英会話のみの生活をしている私を、大竹先生も私自身も、あの授業中は夢にも思わなかったなと思うと、今では懐かしい思い出です。



## 「個人主義」への招待

竹早高校卒業後の私は、毎日が恥の上塗りでした。学業の道を進むことを決心するも、努力は常に不徹底、一度入学した大学でも自身の現状を身勝手に嘆き、その上腹の底ではどうにも不愉快な煮え切らないものが私を占めました。そこで私は退学し、本当に望んでいた大学への進学を決めました。しかし、私の横着な性格は改善



されずやはり努力は不完全、その後二度も受験に失敗したのです。気付けば友人を失い、社会での座標を失い、居場所が見つからず私は完全に孤独になってしまいました。

そんな私の絶望にある文章が光を射しました。夏目漱石の「私の個人主義」。彼は私に、どんな犠牲を払っても自分の進むべき道を探り当てるまで行くこと、それが私達の幸福の為に絶対に必要である、そう語ったのです。「ああ此処におれの進むべき道があった！漸く掘り当てた！こういう感投詞を心の底から叫び出される時、あなたがたは始めて心を安んずることが出来るでしょう」と。私はまるで漱石に叱られている心持でした。あの漱石でさえ絶望の淵に立ったのです。少し躓いたからといって過去を嘆き、周囲に惑わされて大切なものを手放すなどそれこそ大きな過ちだ、そう気付きました。全てを諦めかけていた私は彼からもう一度立ち上がる勇気を貰い、自分の本当の幸せの為に最後に出せる力を出し切ろうと決意しました。

漱石の言葉を隣で説き続けた母の力強い協力もあり、私は己の限界を破って果して第一志望大学に合格しました。素晴らしい教授や友人との出会いを実現し、そこでは私の有って生れた個性はしっかり合い、大変有意義な生活を送っています。この過程こそ私の一生の財産です。

もし道の途中、霧の中で懊悩している方があれば、どうか諦めないで下さい。苦悩するのはあなたに譲れない何かがある証拠です。是非それを尊重して下さい。周囲の雑音や評価など関係ありません。大切なのはあなた自身の「個人主義」なのです。

大久保 有彩 高校61回生(平成21年卒) 109回生

## 竹早高校を卒業して

女子高生まぶしいなあ。竹早高校を卒業して早1年が経ち、時間の流れる速さに驚きつつ、今日の前にある毎日に追われながらも楽しく過ごしています。

私はこの大学生活において、やり残すことのないよう、後悔することのないよう、挑戦することに前向きになろうと決めました。そうして、かねてから気になっていたラクロスというスポーツを始めました。部活なので朝練や放課後練がしっかりあり、日々のスケジュールは大半を部活に占められますが、愉快的仲間にも出会い、ともに汗を流しています。部活に入るとそれなりに費用がかかるので、いつの間にかバイトも2つ掛け持ちし、毎日部活、授業、バイトに追われています。

今私が通っている大学は、第一志望でもなく、浪人という選択肢を与えられていなかった私が崖っぷちで受験し、なんとか合格を掴んだ大学だったので、全く思い入れがなかったのですが、新しい友達やラクロスなど私に様々な素敵な出会いの機会を与えてくれました。そして私は今、この大学で新たに立てた目標に向かって勉強の方にも奮闘しています。

卒業を間近に控えた時期、まだ進路が決まっていなかった私を戸谷先生は励ましそして最後まで力強く応援してくれました。そしてようやく進学先が決まった時も、「最終的にはあなたに縁のあるところにあなが進むことになっているんだから」と私に助言してくれました。そして私は今、戸谷先生のおっしゃる通り、様々な出会いを提供してくれたこの大学に縁を感じています。そのように与えられた出会いやチャンスを大事に生かして、部活をやり通し、目標を達成できるよう精一杯頑張りたいと思います。

欲張って様々なことに手を出し過ぎて疲れて怠けてしまいがちな時もあるのですが、そういう時こそ力をくれるのは竹早時代の友達の一喝なのです。



## 関西篁会だより

中川 大子 高校13回生(昭和36年卒) 61回生

本年、母校は創立から110周年！関西篁会は95年！大正4年に、東京から遠く離れた関西の地で、9名の先輩が集まられたのが始まりでした。以来、その活動が綿々と引き継がれてきております。

平成21年度の総会は、11月8日(日)に、最近、交通至便と会員に好評のホテルグランヴィア大阪で開催されました。

今回も篁会から会長の磯貝様のご出席下さり、篁会の活動のご報告をいただきました。また、シニアながらとても行動的なご自身のご経験を沢山伺うことが出来、固まりかけていた脳を刺激していただきました。

例年より少人数ではありましたが、米寿を迎えられた高女40回卒の先輩にもご出席いただき、元気をいただきました。そして、お話がいくらかも波及していく楽しさと盛り上がりは、参加者全員がひとつの卓を囲めたことに因るのでしょうか。心がひとつに溶け合った大きな歌声の校歌斉唱。皆で母校の校歌のすばらしさを再確認でした。1年後の再会をお約束して閉会となりました。

21階の会場の広い窓から遠くの山波が美しく見えたよいお天気の1日でした。

新体制で活動の幹事会も今年にはや3年目。厳しく難しい世相ですが、これからも和やかな会が末長く続きますように。会員の友情の輪が更に広がりますようにと願っております。

磯貝様にもお願いしてご寄稿いただいている「関西篁会会報」の発行は、会員の輪を広げる大切な活動と努力しております。お忙しい中ご寄稿下さる皆様方のお蔭で、毎年なかなか自慢の「会報」に仕上がって、平成21年度はその21号を皆様にお届け出来ました。

皆様に感謝しながらの幹事会活動です。

本年度の総会は11月28日(日)同じくホテルグランヴィア大阪の予定です。関西以外の皆様も、ぜひ、大阪にお出掛け下さい。

篁会のますますの発展をお祈りいたします。



## 湘南篁会だより

影本 昌則 高校6回生(昭和29年卒) 54回生

平成21年5月13日(水)に総会と懇親会を、例年通り鎌倉市七里ヶ浜の「鎌倉プリンスホテル」で行った。

総会では幹事代表として影本が挨拶し、橋本・葉師寺両先輩(高女35回生)を始め多数の高女出身の方々のご出席下さった事への御礼を述べた。来賓の磯貝会長からは、「篁会特別セミナー」、「竹早祭」等での母校への活動について報告があり、当会からも金子先輩(高校2回生)が「特別セミナー」講師として参加されたとの事であった。次に田村幹事(高校6回生)から会計と会員異動の報告があり総会は終了した。

懇親会は、元会長・松本紀子様(高女41回生)の乾杯で始まり、例年通り当ホテル自慢のフランス料理を賞味した。会食後、倉島誠二郎君(高校29回生・県立高校の現役英語教師)に話を貰った。特に近年の教師批判に対し、多くの教師が献身的な努力をしているので父母側ももう少しその辺の事を理解して欲しいとの事で、最後に水村美苗著「日本語が亡びる時-英語の世紀の中で-」との本の紹介があった。引き続き高女・高校それぞれの校歌を斉唱し、小澤幹事(高校19回生)の閉会の辞でお開きとなった。

なお、「平成22年度の総会と懇親会」は次の通りです。地域外からの参加も大歓迎です。(本年は都内から、小山・大畑両氏—いずれも高校6回生—の参加がありました。)

日時：平成22年5月15日(土) 12:30~14:30  
場所：鎌倉プリンスホテル





## 2009「お休み処たかむら」

～竹早祭に参加しています!～

### この企画が始まったきっかけは……

実は大したことはありません。発端は5年前の竹早祭に廻ります。当時の理事5名が竹早祭を見学したとき、忘れていた「楽しいことをやってみよう」という不思議な感情がむくむくと頭をもたげ、この企画がスタートしたのです。そのあたりのいきさつについてはホームページのコラムに詳しく掲載していますので、そちらをご覧ください。

### 本格コーヒーを無料で……

「お休み処たかむら」は昨年で4回目となり、ようやく在校生にも定着してきたようです。生徒から「いつも楽しみにしています」と言われるとお世辞と分かっている嬉しものです。

この「お休み処たかむら」のメインイベントは何と言っても「本格コーヒーを無料で提供すること」です。この他にソフトドリンクやお菓子類も提供していますが、やはり「本格コーヒー」がこの企画のコアと言ってよいでしょう。

実は一昨年まで業務用のコーヒーマシンを貸し出して下さっていた理事が退任したため、今回はどうするか問題でした。コーヒーマシンを買うか、リースで借りるか、いろいろな議論がありました。最終的にはある現役理事のご厚意により、コーヒーマシンを購入することを条件に、マシンを無料でお借りすることが出来ました。その結果、具体的なことは書きにくいのですが、とにかく最高級ホテル並みの本格コーヒーを提供することが出来たのです。今年このコーヒーを無料で飲めた方は本当にラッキーでした。

### 事前準備は「読み」が大変……

事前に準備するものでもお菓子とソフトドリンクの量は「読み」が重要です。お菓子は前日に買出しに行



くのですが、皆さんの嗜好も分かってきて、かなりストライクな選定ということもあり、出る量が年々増えてきています。今年は昨年2日分を1日で消化してしまい、急遽追加しました。またソフトドリンクの消化は天候に左右されやすく、気温によって出る量が変わってきます。こちらはお菓子と違ってペットボトルなのでかなり重たく、足りなくなると若手の理事が買い出しに行かねばなりません。会社ではベテランでも篁会では若手という理事にとっては、結構辛い買い出しですので、最初の発注量が大変重要な意味を持てます。恨みをかうかどうかの瀬戸際ですので、大抵は少し多めに発注します。今年は紙コップの数が若干足りませんでした。終了30分くらい前に切らしてしまい、少し早めの閉店を余儀なくされました。

### 変身願望が叶う?……

「お休み処たかむら」は理事をはじめ会員のみさんのボランティアで運営されています。全員エプロンを着て、ちょっとしたコスプレ気分に参加することが出来ます。大きな声では言えませんが、本当は喫茶店のマスターが天職ではないかと思えるような方もいらっしゃいます。昔銀座にあったような和風喫茶のウエイトレスさんもいらっしゃいます。とにかくみなさん和気あいあい、後輩のパフォーマンスに負けないよう精一杯頑張って頑張っています。

### 事業としての目的……

ただ私たちは在校生のみさんとは違う立場でもあり、一応事業目的をもって進めようということになり、以下のような趣旨を掲げています。

- ①在校生に対して同窓会「篁会」の認知促進、入会率の維持、将来の会費納入への理解を深めること。
  - ②篁会会員相互の交流の場として活用すること。
  - ③受験生やその保護者に対して竹早高校の歴史や校風を理解してもらうこと。
  - ④学校やPTAとの連携を強化すること。
- 年々動員力も上がり、去年は1,000名を超える来場が

ありました。アンケートの結果をみても、「お休み処たかむら」の認知は着実に進んでいますし、評価もかなり高いと思います。在校生にとっても篁会が身近になりつつあり、今後も「特別セミナー」と並んで大きな柱になっていくことを期待しています。



### 2009年度の実績

#### 開催日時

9月12日(土) 9:30～15:00  
9月13日(日) 9:30～14:30

#### 場所

竹早高校3F 3-B教室

#### 天気

9月12日(土) 雨時々曇り 気温:21℃  
9月13日(日) 曇りのち晴れ 気温:23℃→27℃

#### 動員数

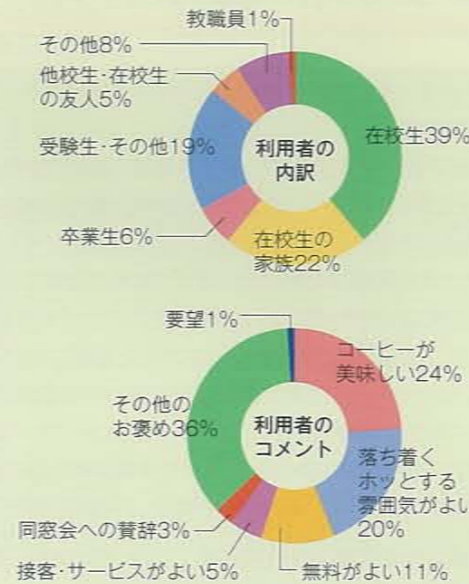
2日間で約1,050名(紙コップの数量から推計)  
両日ほぼ同数(アンケート回収結果から推計)

#### 運営内容

- ①本格コーヒーの無料提供
- ②ソフトドリンクの無料提供
- ③「映像でたどる竹早の100年」放映
- ④パネル展示
- ⑤アンケートの実施

### アンケートの回収結果

回収数690(0と0の回答に複数のコメントがある場合は、それぞれを抽出してカウントした。)



## 『篁』回覧板

### 〈ご案内〉

①開催日、②場所、③参加人数、④出席講師、⑤幹事(連絡先)、⑥次回開催予定

#### ●14回生同期会

①平成22年5月22日(土)12時開会  
②如水会館 ③70名を予定 ④本多英男先生  
⑤山内 亨・大屋尚子 ⑥平成24年(卒業50周年)

#### ●17回生同期会

①平成22年7月10日(土)  
②帝国ホテル 詳細後報  
③原 嘉昭(090-1731-8774)

### 〈開催しました〉

#### ●32回生同期会

9月13日(日)、卒業から約30年を経て初の32回生(昭和55年卒業)の学年同期会が茗溪会館で開催されました。

総勢約90人という盛況。F組担任の長谷部先生もおみえになり大いに盛り上がりました(長谷部先生から、当時は今の我々より若かったとお聞きし、一同唖然という一幕も)。

会の始めは皆、緊張の大人の面持ちでしたが、ひとたび話を始めれば、何も気にせず恐れないあの頃の、思ったままを言い合える、かけがえのない仲間に再会出来た喜びで、皆興奮状態の3時間であつたと思います。

2次会にも40名超が参加して、遅くまで盛り上がりました。名残を惜しみつつ、そしてあの頃、皆と過ごした時間の大切さを噛みしめて、懐かしい茗荷谷の駅を出ました。

当日、30年前卒業式の日に校門で別れた、そこにまた皆で戻ってきたような思いを抱いたのは私だけではないと思います。卒業してから全力疾走で駆け抜けてきましたが、そろそろ立ち止まってあの頃を振り返る気持ちになる季節になったということでしょうか。

竹早で過ごした3年間がいかに貴重な時間だったか。四度目の年男・年女を迎えた今なら、あっという間に過ぎてしまう時間ですが、人生の中で一番多感で、人間形成に大きな影響を与えた高校時代の3年間は、何倍にも膨れ上がる大切な時間だったことを認識し、竹早で、素晴らしい仲間、先生方とその時間を過ごせたことが何と幸せだったかと改めて実感しました。

今回の同期会開催の後押しをして下さった篁会と、会の一切を取り仕切ってくれた同期永世幹事(?)の稲垣君に、同期を代表して、心よりお礼を申し上げます。

また皆で集まりましょう。そして、今回集まれなかった仲間にも、次回はきっと会えることを期待しています。

幹事:小沢 健

篁会ホームページ  
<http://www.takamurakai.com>



篁会のホームページは専用のサーバーで運用されています。総会のご案内、学年会やクラス会の情報ははじめ、これまで発行された会報「篁」のバックナンバーなどもご覧いただけます。また現在の校歌のほかに府立第二高等女学校の校歌を聴くことができます。まさに温故知新の体験ゾーンと言えるかも知れません。







平成21年度の理事会活動は以下の通りです。

## 【理事会】

●8月5日 第1回理事会 出席者16名 委任状4名

- 1)承認事項
  - ・平成21年度総会収支報告の件
  - ・新理事承認の件 戸次(べっき)聡史氏(高校34回)を選任
- 2)報告事項
  - ・学生会特別セミナーの総括
  - ・会報委員選任状況の件
  - ・次号会報企画概要
  - ・篋寿会進捗状況
  - ・学年幹事連絡会進捗状況
  - ・竹早高校創立110周年記念行事の件
- 3)その他
  - ・竹早祭応援体制の件

●9月4日 第2回理事会 出席者14名 委任状6名

- 1)承認事項
  - ・篋会副会長選任の件 榎本理事を副会長として選出
  - ・監査人選任の件 村上伸一氏(高校14回)を選出
  - ・会報委員選任の件
  - ・次号会報企画概要の件
- 2)報告事項
  - ・竹早祭関連報告
  - ・篋寿会進捗状況
  - ・平成21年度総会進捗状況
  - ・創立110周年関連報告
- 3)その他
  - ・「東京校歌祭」勧誘への対応

●12月17日 第3回理事会 出席者15名 委任状5名

- 1)承認事項
  - ・新理事選任の件
  - ・松丸直樹氏(高校21回)、小野由紀子氏(高校21回)を選任
  - ・21号会報予算および発注先の件
  - ・創立110周年に関連した篋会事業案 継続審議とする
- 2)報告事項
  - ・平成22年度篋会総会・懇親会の件
  - ・平成22年度篋会特別セミナーについて
  - ・平成21年度竹早祭報告
  - ・篋寿会報告
  - ・学年幹事連絡会報告

●1月23日 第4回理事会 出席者14名 委任状6名

- 1)承認事項
  - ・監査人選任の件 高倉孝生氏(高校23回)を選出
  - ・総会・懇親会予算の件
  - ・創立110周年に関連した篋会事業案 引き続き継続審議とする
- 2)報告事項
  - ・会報進捗状況
  - ・担務見直しの件 継続審議

●3月29日 第5回理事会 出席者22名 委任状4名

- 1)承認事項
  - ・平成21年度収支報告
  - ・平成22年度収支予算案
  - ・創立110周年に関連した篋会事業案
  - ・新理事選任の件 池上美知子氏、小田みどり氏、岩野英子氏(いずれも高校20回生)を選任
- 2)報告事項
  - ・学校からの報告 創立110周年関連、特別セミナー関連等
  - ・会報進捗状況
  - ・篋会総会・懇親会進捗状況

## 【その他】

- 4月7日 竹早高校入学式に参列
- 7月7日 竹早高校にて篋会特別セミナー9講座開催
- 9月12日13日 竹早祭に「おやすみ処 篋」を出店
- 9月12日 篋寿会開催 於「学士会館」
- 11月28日 学年幹事連絡会開催
- 3月6日 竹早高校卒業式に参列
- 3月27日 会計監査

## 篋会 平成21年度収支報告(案)

平成21年4月1日より平成22年3月31日まで

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前年繰越金	16,109,513	総会開催関係費	1,658,665
入会金:新入会員	1,744,000	贈呈記念品費	478,380
年会費	2,995,000	会報発行費	2,537,595
総会会費	1,225,000	会議費	35,600
出版物販売代金	7,000	通信費	13,958
雑収入	15,798	運賃送料	2,640
諸事業収入(*1)	632,000	旅費交通費	27,000
受取利息	1,442	事務用品、消耗品費	61,012
		教育援助金	100,000
		慶弔費	30,000
		HP運営費	4,200
		諸事業経費(*2)	860,610
		会費入金払出手数料	202,075
		仮払金(22年度総会費用)	100,000
小計	22,729,753	小計	6,111,735
		次年度繰越金	16,618,018
百周年事業基金	5,540,090	百周年事業基金	5,540,090
合計	28,269,843	合計	28,269,843

*1	事業内容	金額	*2	事業内容	金額
篋寿会会費		632,000	学年会関連		32,979
			竹早祭出展企画		78,229
			篋寿会		633,889
			篋会特別セミナー		115,513
			合計		860,610

期末の現金預貯金等の残高	
現金	370,504
預貯金	5,181,605
ゆうちょ普通貯金	5,181,605
ゆうちょ定額貯金	7,000,000
ゆうちょ振替口座	50,000
みずほ銀行本郷支店普通預金	9,585,779
合計	22,187,888

## 篋会 平成22年度収支予算(案)

平成22年4月1日より平成23年3月31日まで

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前年繰越金	16,618,018	総会開催関係費	2,065,000
入会金:新入会員	1,840,000	贈呈記念品費	480,000
年会費	3,000,000	会報発行費	2,600,000
総会会費	1,330,000	会議費	100,000
出版物販売代金	10,000	通信費	50,000
雑収入	0	運賃送料	10,000
諸事業収入(*1)	800,000	旅費交通費	50,000
周年事業収入(*2)	200,000	事務用品、消耗品費	50,000
受取利息	5,000	教育援助金	100,000
		慶弔費	50,000
		HP運営費	20,000
		諸事業経費(*4)	1,110,000
		周年事業費	200,000
		会費入金払出手数料	200,000
		予備費	100,000
小計	23,803,018	小計	7,185,000
		次年度繰越金	16,618,018
周年事業基金(*3)	5,340,090	周年事業基金	5,340,090
合計	29,143,108	合計	29,143,108

*1	事業内容	金額	*4	事業内容	金額
篋寿会会費		800,000	学年幹事連絡会		50,000
			竹早祭企画		100,000
			篋寿会		800,000
			篋会特別セミナー		150,000
			名簿データ管理費		10,000
			諸事業経費合計		1,110,000

\*2 周年事業基金より振替  
\*3 百周年事業基金という科目を  
周年事業基金に変更

## 篋会役員名簿(平成22年4月現在)

会長	磯貝 恵三(高校7回生)	理事	鈴木 輝夫(高校19回生)
名誉会長	丹藤 浩(竹早高校校長)		木村 民子(高校19回生)
顧問	星野 昌子		香川 洋子(高校20回生)
副会長	榎本 毅(高校16回生)		池上美知子(高校20回生)
	小林 稔(高校23回生)		小田みどり(高校20回生)
理事	内山 光政(高校10回生)		岩野 英子(高校20回生)
	柏木 洋子(高校12回生)		松丸 直樹(高校21回生)
	板東 高武(高校13回生)		吉岡 新(高校21回生)
	山内 亨(高校14回生)		小野由起子(高校21回生)
	佐藤美紗子(高校16回生)		水田 茂夫(高校23回生)
	原 嘉昭(高校17回生)		細田 裕美(高校28回生)
	藤島 磁郎(高校17回生)		古関 恵一(高校29回生)
	松島 美弓(高校17回生)		戸次 聡史(高校34回生)
	野川 淑子(高校18回生)		平川 悟(高校52回生)
	森 多恵子(高校18回生)	監査	池田 明子(高校11回生)
	菅原 哲朗(高校19回生)		萩 隆之介(高校12回生)

## お知らせ

### ●年会費納入のお願い

いつもご協力ありがとうございます。昨年度より、年会費の複数口受け付けがはじまり、おかげさまで予算を上回る増収となりました。これからも同窓生相互の交流、親睦を深めるため、さらに母校及び現役生に貢献できるためにも、篋会会計の充実を図りたく、会員の皆様のいっそうのご協力を宜しくお願い申し上げます。

### 【年会費は複数口受け付けます】

同封の郵便振込用紙をご利用ください。

- ・年会費 1口1,000円 1口以上
- ・総会参加費 8,000円(参加の方のみ)

### ●「篋〇〇回生」について

会報のなかに、「篋〇〇回生」と記載されていますが、これは1901年の第一回卒業生が「篋1回生」=「高女1回生」、1967年卒業の高校19回生は「篋67回生」、2010年の卒業生は「篋110回生」=「高校62回生」という様になります。会員同士の卒業年数の差異がすぐわかり、会報や総会等で用いています。

### ●ご意見・ご希望は

会報は同窓生みんなのものです。本誌へのご意見・ご希望を同封のハガキ(総会出欠用)等で「会報委員会」までお寄せください。また、住所等が変更された方は、「名簿委員会」までお知らせください。  
〒112-0002 文京区小石川4-2-1  
東京都竹早高校内「篋会」  
篋会連絡用電話 090-8853-1901



## 編集後記

これまで会報に関わってくださった歴代委員の方々からバトンタッチされ、今号から会報委員会は団塊世代以後の若いメンバーに一新されました。編集委員の皆様にはお忙しい中、パソコンをフルに活用してご協力いただき、能率よく編集が行われたことを感謝申し上げます。今年は竹早高校も創立110周年を迎えます。さらなる発展を祈念するとともに、この会報によって篋会の絆がさらに強まることを願っております。(木村民子)

## 謹んでご冥福をお祈り申し上げます

旧職員			
津田 龍一	英語	2008.4.28	
宮尾 幾夫	数学	2008.5	
斉藤加代子	英語	2008.8	
梶 芳郎	英語	2008.8.18	
小島 義郎		2009.3.2	

### 高女・専攻科

篋21回	高女21回	1921	大10女	小林 俊 (下山)	不詳
篋24回	高女24回	1924	大13	芳賀巴真子 (永持)	2010
篋27回	高女27回	1927	昭2女	橋本 千鶴	2009.6.1
篋27回	高女27回	1927	昭2女	甲 八木 隆子 (山田)	2009.3
篋31回	高女31回	1931	昭6女	乙 鳥居 敏江 (大松谷)	2009.4.7
篋32回	高女32回	1932	昭7女	甲 竹内 政 (中井)	2009.1.21
篋33回	高女33回	1933	昭8女	乙 瀧川 笑子 (瀧川)	不詳
篋33回	高女33回	1933	昭8女	甲 中川八重子 (中村)	2008.9
篋33回	高女33回	1933	昭8女	甲 久富 巖子 (大野)	2005.6
篋33回	高女33回	1933	昭8女	甲 立木 榮子 (関)	不詳
篋33回	高女33回	1933	昭8女	甲 草川 澄子 (山下)	2007.6.16
篋35回	高女35回	1935	昭10女	紅 土田八重子 (井上)	2008.11.13
篋35回	高女35回	1935	昭10女	白 外口 綾子 (佐野)	2009.3.9
篋37回	高女37回	1937	昭12女	紅 星野 幸子 (堀切)	2009.1.17
篋39回	高女39回	1939	昭14女	紅 山本 孝登	2008.11.4
篋43回	高女43回	1943	昭18女	紅 石原 加枝 (加藤)	2009.2.24
篋43回	高女43回	1943	昭18女	紅 清水 愛子 (中村)	2009.11.18
専攻科1回	1944	昭19専		秋山真理子	2007.12.1
篋46回	高女46回	1945	昭20女④	前田田鶴子 (中根)	2008.5.30
篋45回	高女45回	1945	昭20女⑤	松尾 久子 (鈴木)	不詳
篋46回	高女46回	1945	昭20女④	山本まみ子 (石渡)	2009.5.29
篋46回	高女46回	1945	昭20女④	佐久間智子 (荒生)	2009.7

### 高校

篋51回	高校3回	1951	昭26高	G	菅野 明子 (小谷)	不詳
篋52回	高校4回	1952	昭27高		鈴木 博子 (梶)	2009.4.17
篋53回	高校5回	1953	昭28高	C	鹿倉 孝子	不詳
篋54回	高校6回	1954	昭29高	D	柳川 良子 (田中)	2009.7.18
篋55回	高校7回	1955	昭30高	B	鹿野 修	2010.2.3
篋55回	高校7回	1955	昭30高	C	鈴木 時子 (斉藤)	2008.6.13
篋58回	高校10回	1958	昭33高	D	高橋 多助	2006.8.15
篋59回	高校11回	1959	昭34高	A	三木久美子	不詳
篋59回	高校11回	1959	昭34高	B	佐藤 昭子 (高玉)	2007
篋59回	高校11回	1959	昭34高	C	西山 孝枝 (荒木)	2007.8.20
篋61回	高校13回	1961	昭36高	A	美馬 啓子 (野村)	2009.1.9
篋61回	高校13回	1961	昭36高	F	川道千鶴子 (林)	2008.3.17
篋66回	高校18回	1966	昭41高	B	秋田 秀明	2010.2.14
篋80回	高校32回	1980	昭55高	E	若原 龍雄	2006.10
篋80回	高校32回	1980	昭55高	F	高崎 敦史	2003
篋80回	高校32回	1980	昭55高	F	山崎 祐子	2008

(敬称略)

\*平成22年2月28日までにご連絡いただいたものです。

### 《誤報によるお詫び》

昨年発行の会報において計報の記載に誤りがあり、下記会員の方に多大なご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

高校20回生 若月 千代(後藤)様

過去に発行された名簿に物故者として記載があり下記会員の方に多大なご迷惑をおかけしました。

高女39回生 岩村 緑(桜井)様  
高校31回生 伊=ヘンドリックス恵美様

謹んで訂正とお詫びを申し上げます。